



# コマーシャルバンク

中堅・中小企業マーケットを担当する「法人グループ」と個人マーケットを担当する「個人グループ」で構成されるコマーシャルバンクは、お客さまの個々のニーズに即した最適なサービスを提供するリレーションシップマーケティングを一層強化していきます。

## 法人グループとしての戦略について

先進のマルチチャネルで多様化・高度化するお客さまのニーズに即した最適サービスをスピーディーに提供。

### 1. 法人グループを取り巻く環境と役割

裾野が広く、日本経済の基盤を支えている中堅・中小企業とのお取引を当行は重要な事業領域の一つと位置づけ、重点化を図っています。このマーケットを専門に担当している法人グループは、お客さまの健全な資金需要に対して積極的な支援を行い、円滑な金融制度の維持・拡大を推進することで金融機関としての社会的役割を果たしていきます。さらに、多様化・高度化するお客さまのニーズに対して最適なサービスを最もスピーディーに提供するため、営業拠点・本部・関連会社の各々が有する専門機能を有機的かつ最大限に発揮する「マルチチャネルネットワーク」を一層充実させ、お客さまの満足においてトップレベルの地位を確立することを目指しています。

また、貸出資産の健全性維持・向上の観点から与信リスク管理強化を図り、強く健全な財務体質の構築に努めていきます。

### 2. 具体的戦略と今後の課題

法人グループはこれらの課題を実現していくために、次の3点を重点施策として実施していきます。

第一は「中堅・中小企業の積極支援」を進めます。『富士パソコンバンクサービス』や『代金取立管理サービス』など

の利用と併せて当行の借入期間別最優遇金利の適用を受けられる総額6,000億円の『富士中小企業育成ファンド』をはじめ、お客さまのニーズにマッチした貸出商品をラインナップし、企業の健全な資金需要に積極的にお応えしていきます。

中堅企業・成長企業を中心とした資産活用・公開支援・事業承継などの幅広い経営課題を持つお客さまには精鋭の専門スタッフをそろえた「法人営業部」を新設し、事業情報・資産情報の提供やコンサルティング活動を積極的に推進するとともに、フィナンシャル・アドバイザー機能に優れた安田信託銀行とも連携し、特色あるトータルなサービスを展開していきます。

ニュービジネス企業の育成・支援には『公益信託富士ニ



ユービジネス育成基金』による助成や、『芙蓉ニュービジネスフォーラム』・『芙蓉環境ビジネス協議会』による事業化支援などを通して積極的に取り組み、わが国の将来を担う新技術の開発ならびに新事業の創造に重要な役割を果たしていきます。また、芙蓉グループをはじめ、お取引先の各企業が保有する特許・技術などの知的財産やビジネス情報を富士総合研究所のインターネット・ホームページ上で公開し、流通・交流を図るシステム『芙蓉テクノライブラリー』を創設し、企業間の技術移転の促進を図ることで幅広い分野での新規事業の開拓や産業技術の向上に寄与していきます。

第二は「法人取引チャネルの多様化」を推進していきます。先進的で多様なチャネル網を構築し、お客さまへの高い利便性の提供とローコスト化実現の両面を追求していきます。

法人取引の“プロ”をお客さまにより近い地域に集中配置し、高度で専門的かつ競争優位な商品・サービスを提供する「法人取引集約店舗」の本格拡大

コマーシャルバンキング業務に加え、インベストメントバンキング業務などの高い専門性が求められる大・中堅企業の取引を集約した「地域営業部」の新設

融資実務に精通したスタッフを本部にそろえ、中小企業向けダイレクトマーケティングを専門に担う『ビジネス金融センター』の機能・体制強化

M&A・デリバティブズ・IT(インフォメーションテクノロジー)を活用した決済業務など、高度化するお客さまのニーズにタイムリーかつ的確に対応するための『プロダクト専門本部』のさらなる充実

連結経営時代の本格到来を先取りし、信託・リース・ファクタリング・ファイナンスなどの関連会社機能を有機的に結合し、サービス面でのシナジーを追求

これらの法人取引チャネルのマルチ化を積極的に推進し、多様化・高度化するお客さまのニーズに対して最適なサービスを迅速に提供する体制を確立していきます。

第三は「資産・収益構造の改善」をさらに加速させていきます。貸出資産の健全性・効率性を高めると同時に、リスクアセットに頼らない新たな収益源を拡充し盤石な収益

体質を創り上げます。また、当行全体のリスク管理を軸とした経営管理体制強化に併せて、法人グループ審査部門を抜本的に再編成したほか、行内格付制度の一層のレベルアップ、信用リスク管理・与信監査体制の強化を推進し、リスク管理のさらなる強化を図っていきます。

コマーシャルバンクの一翼を担う法人グループは「21世紀のリーディングバンクとしての飛躍」を実現していくために、これらの課題に積極的に取り組んでいきます。



『芙蓉テクノライブラリー』は富士総合研究所の専門スタッフを活用して、特許・技術などの知的財産やビジネス情報などの「売り手側(大企業・大学など)」と「買い手側(中堅・中小企業など)」がそれぞれ潜在的に有する「ニーズ情報」と「シーズ情報」を具現化するとともに、当行ならびに芙蓉グループのネットワーク力を活用し、ビジネスフォロー体制を備えた全く新しいインターネットビジネスサイトです。